

「サイバーセキュリティセミナー」を開催しました

三重サイバーセキュリティ・アイザック（事務局：三重県警察）は、令和元年12月4日、三重県総合文化センターにおいて、県内の中小企業等のサイバーセキュリティ意識の向上、対処能力の強化を図るため、サイバー空間の脅威に関する講演やフィッシング被害疑似体験等を内容とするセミナーを開催しました。

セミナーには、中小企業や団体の担当者ら約100名が出席し、サイバーセキュリティの専門家から「リスクと対策を知る」をテーマに、サイバー犯罪の被害に遭わないための対策方法等について学びました。

講演

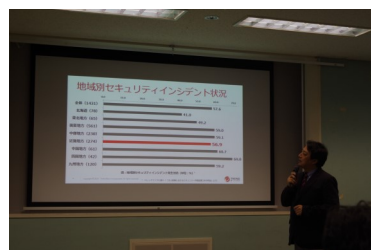
- 三重県で発生した情報セキュリティ事件と
すぐのできる事業所のセキュリティ管理策
ITC三重（参画機関） 村阪 浩司 氏
- ソーシャルエンジニアリングを知ろう！
～「人」を狙ったサイバー攻撃から組織を守る～
株式会社ラック（オブザーバー企業）
鈴木 悠 氏
- 最新の脅威動向について
トレンドマイクロ株式会社（オブザーバー企業）
岡本 勝之 氏
- サイバー空間の脅威と対策
三重県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課
警視 東郷 剛



<ITC三重 村阪氏>



<ラック 鈴木氏>



<トレンドマイクロ 岡本氏>



<三重県警察本部>

体験会



○ ウイルス感染疑似体験

実際にウイルス感染したパソコンを操作して、不正なプログラムを発見するための調査方法について研修をしました。

ウイルスに感染しても全く気がつかないことがほとんどです。疑似体験を通じて、被害を最小限にするためには、ウイルス感染の原因やウイルス感染による影響範囲の特定のための調査が必要であることを学びました。



<体験会>

○ フィッシング被害疑似体験

「お客様の口座が第三者に利用されている恐れがある」との偽メールを受信し、メールのURLをクリックすると、そこは偽のインターネットバンキングログイン画面。

参加者が、ID・パスワードを入力し、ログインすると同時に犯罪者のパソコンに、ID・パスワードが表示され、簡単に情報を窃取されることがわかりました。

<フィッシング被害に遭わないための対策例>

- ①不用意にメールのURLをクリックせず**正しいURLを確認**する。
- ②「**緊急**」「**危険**」などの文言には**注意**する。
- ③**金融機関が提示しているセキュリティ対策は漏れなく実施**する。



三重サイバーセキュリティ・アイザック（MieCS-ISAC）は、平成29年12月、産学官16機関が連携し、県内のサイバーセキュリティ対策の向上を目指し発足しました。



みんなで守るサイバー空間
ISAC(アイザック)

ITC三重・(株)百五総合研究所・(株)FIXER・(株)三十三総研
インターネット防犯連絡協議会（(株)シー・ティー・ワイ・(株)ZTV
・(株)松阪電子計算センター）
三重県産業支援センター・三重県商工会議所連合会
三重県商工会連合会・三重県中小企業団体中央会
鈴鹿工業高等専門学校・鳥羽商船高等専門学校・三重大学
総務省東海総合通信局（情報通信部電気通信事業課）
県教育委員会事務局（教育総務課）
県地域連携部情報システム課・雇用経済部ものづくり・イノベーション課
警察本部（生活安全部サイバー犯罪対策課）